



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日
東

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ 上場取引所
コード番号 9439 URL <https://mhgroup.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役会長兼執行役員社長 (氏名) 朱峰 玲子
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役兼執行役員経営企画担当(氏名) 家島 広行 TEL 03(5411)7222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	456	△4.2	△14	—	△13	—	△15	—
2025年6月期第1四半期	476	0.6	△8	—	△6	—	△9	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 2百万円(—%) 2025年6月期第1四半期 △19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	△1.29	—
2025年6月期第1四半期	△0.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1,714	502	29.2
2025年6月期	1,773	505	28.4

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 500百万円 2025年6月期 503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2026年6月期	—				
2026年6月期(予想)		0.00	—	0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	3.9	30	—	30	—	15	—	1.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社(社名)、除外 ー社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期1Q	11,642,100株	2025年6月期	11,642,100株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	100,048株	2025年6月期	100,048株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年6月期1Q	11,542,052株	2025年6月期1Q	11,642,052株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、企業収益や雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の拡大等、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、長引くロシア・ウクライナ情勢や中東地域を巡る地政学的リスクの高まり、為替の急激な変動、資源価格の高騰、通商政策など米国の政策動向による影響等、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。また、消費環境におきましては、個人消費が緩やかに持ち直してきたものの、物価上昇の継続を背景とした節約志向の高まり、消費マインドの冷え込み等、消費の鈍化も見られるようになりました。

当社グループが属する美容業界におきましても、物価上昇を背景とした節約志向の高まり、消費マインドの冷え込み等に起因した来店サイクルの長期化などが見られております。また、業界全体として美容師をはじめとした人材の流動性が高まっており、優秀な人材確保がより重要な課題となっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、2024年9月26日に公表いたしました中期経営計画に基づき、経営基盤の基礎をしっかりと固めるべく、人的資本経営の強化、既存事業においては経営効率の最適化を図り、安定したサービスの提供とともに、新たな収益の柱となる事業の創出に注力しております。美容業界で上場する数少ない企業グループとして、そして、リーディングカンパニーとしてDX化・GX化を推進することで業界全体のプレゼンス向上に資する取り組みにも注力しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、美容室支援事業が堅調に推移したものの、他の事業が前年同期に比べ微減となったことから、全社としても減収となりました。

営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益の各段階利益におきましては、売上高の減少に伴う減益、コスト削減に努めるものの原材料価格の高騰や人件費、物流費をはじめとした諸経費のコスト増加に伴い、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失となり、いずれも前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高456,232千円（前年同期比4.2%減）、営業損失14,910千円（前年同期は営業損失8,700千円）、経常損失13,573千円（前年同期は経常損失6,349千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失15,040千円（前年同期比は親会社株主に帰属する四半期純損失9,066千円）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン10店舗（モッズ・ヘアサロン9店舗、美容室セラヴィ1店舗）を展開しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、産休や離職等によるスタイリストの稼働人数の減少の影響もあり減収減益となりました。また、美容業界での人材の流動性が高まっており、今後の競争力を高めるうえでも優秀なスタッフは不可欠であり、一定のコストの先行は許容しつつ人材の確保並びに育成に引き続き注力しております。

当第1四半期連結累計期間の直営サロン運営事業の業績は、売上高229,050千円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益9,110千円（前年同期比52.8%減）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第1四半期連結累計期間の店舗数の異動は国内の閉店2店舗であり、当第1四半期連結会計期間末日現在におきまして、国内36店舗、韓国9店舗、台湾3店舗及び中国5店舗の計53店舗となっております。BSサロン運営事業においては、プライベートブランド

(PB商品)をはじめとした商品販売に注力しており、PB商品売上は堅調に推移しているものの、前年同期に比べBSサロンの稼働店舗数が減少したことに伴い減収となりました。一方で前年同期に開催した「モッズ・ヘア」コレクションに係る費用が減少したことから増益となりました。

当第1四半期連結累計期間のBSサロン運営事業の業績は、売上高55,031千円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益17,751千円（前年同期比50.6%増）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。

ヘアメイク事業におきましては、スタジオ、ブライダル各部門が前年同期に比べ売上高及びセグメント利益はいずれも微減となったものの、メディア部門が前年同期に比べ増収増益で推移し、売上高99,169千円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益5,117千円（前年同期比82.3%増）となりました。

（美容室支援事業）

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット決済代行サービス、SCAT株式会社との提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。また、美容室支援事業におきましては、SCAT株式会社をはじめ、提携各社の有するノウハウを活用し、理美容業界における持続可能な環境経営支援（SDGs）として環境配慮型メニューの開発並びに普及を進めております。

美容室支援事業の主力であるクレジット決済代行サービスの契約件数は堅調に推移する一方で手数料率の競争の激化は継続しているものの、当第1四半期連結累計期間においては、売上高29,465千円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益18,639千円（前年同期比1.7%増）となりました。

（キャリアデザイン事業）

当社グループでは、キャリアデザイン事業として人材派遣事業、人材紹介事業を展開しており成長戦略の柱の一つとして位置付けております。

キャリアデザイン事業につきましては、主力の人材派遣事業において従来の販売職の人材派遣からタワーマンションを中心としたコンシェルジュの派遣等にも注力することで着実に件数を伸ばしてまいりましたが、当第1四半期連結累計期間におきましては、人材不足によりスタッフの派遣件数が前年同期に比べ減少する結果となり、売上高64,660千円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益4,257千円（前年同期比10.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ59,265千円減少し、1,714,576千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の減少8,386千円、未収入金の減少70,763千円、のれんの減少2,141千円、投資有価証券の増加25,106千円などによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ55,924千円減少し、1,212,074千円となりました。主な要因としましては、買掛金の増加11,565千円、未払金の減少55,117千円、未払法人税等の減少4,754千円、未払消費税等の減少5,625千円などによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,340千円減少し、502,502千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純損失15,040千円、配当金の支払額5,771千円、その他有価証券評価差額金の増加17,470千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の連結業績予想につきましては、2025年8月15日付「2025年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	573,512	565,125
売掛金	109,079	110,517
商品	80,645	83,995
未収入金	748,271	677,508
その他	25,548	19,304
貸倒引当金	△530	△1,418
流動資産合計	1,536,526	1,455,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,104	216,104
減価償却累計額	△192,734	△194,464
建物及び構築物（純額）	23,369	21,639
工具、器具及び備品	60,906	63,191
減価償却累計額	△50,854	△51,411
工具、器具及び備品（純額）	10,052	11,779
その他	5,037	5,037
減価償却累計額	△4,899	△4,899
その他（純額）	137	137
有形固定資産合計	33,559	33,556
無形固定資産		
のれん	19,603	17,462
その他	5,407	6,499
無形固定資産合計	25,010	23,961
投資その他の資産		
投資有価証券	66,617	91,723
長期貸付金	32,208	32,208
関係会社株式	11,932	11,932
差入保証金	88,660	88,435
繰延税金資産	2,096	849
その他	13,984	13,632
貸倒引当金	△36,755	△36,755
投資その他の資産合計	178,744	202,027
固定資産合計	237,315	259,544
資産合計	1,773,841	1,714,576

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,709	30,274
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	12,471	10,536
未払金	895,958	840,841
未払法人税等	6,232	1,477
未払消費税等	28,284	22,658
契約負債	26,736	26,633
賞与引当金	2,070	1,310
株主優待引当金	15,658	13,242
その他	46,548	45,768
流動負債合計	1,152,668	1,092,744
固定負債		
長期借入金	15,000	13,333
受入保証金	50,500	49,500
資産除去債務	7,268	7,282
退職給付に係る負債	1,807	1,655
役員退職慰労引当金	15,199	15,199
その他	25,554	32,359
固定負債合計	115,330	119,330
負債合計	1,267,999	1,212,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	215,600	215,600
資本剰余金	85,297	85,297
利益剰余金	224,406	203,595
自己株式	△20,513	△20,513
株主資本合計	504,790	483,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△925	16,544
その他の包括利益累計額合計	△925	16,544
新株予約権	1,978	1,978
純資産合計	505,842	502,502
負債純資産合計	1,773,841	1,714,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	476,363	456,232
売上原価	346,545	336,746
売上総利益	129,818	119,486
販売費及び一般管理費	138,518	134,396
営業損失(△)	△8,700	△14,910
営業外収益		
受取利息	47	479
助成金収入	2,768	—
受取配当金	495	1,032
その他	217	289
営業外収益合計	3,528	1,801
営業外費用		
支払利息	425	462
為替差損	721	—
その他	31	1
営業外費用合計	1,178	464
経常損失(△)	△6,349	△13,573
特別損失		
投資有価証券評価損	495	—
特別損失合計	495	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,845	△13,573
法人税、住民税及び事業税	867	1,049
法人税等調整額	1,353	417
法人税等合計	2,221	1,467
四半期純損失(△)	△9,066	△15,040
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,066	△15,040

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△9,066	△15,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,608	17,470
その他の包括利益合計	△10,608	17,470
四半期包括利益	△19,675	2,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,675	2,430
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリア デザイン 事業	計		
売上高	234,042	56,841	100,660	28,963	76,782	497,290	△20,927	476,363
セグメント利益	19,298	11,784	2,806	18,322	4,728	56,941	△65,641	△8,700

(注) 1. セグメント利益の調整額△65,641千円には、棚卸資産の調整額△32千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,609千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリア デザイン 事業	計		
売上高	229,050	55,031	99,169	29,465	64,660	477,377	△21,144	456,232
セグメント利益	9,110	17,751	5,117	18,639	4,257	54,876	△69,786	△14,910

(注) 1. セグメント利益の調整額△69,786千円には、棚卸資産の調整額△141千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,645千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)	
減価償却費	3,680千円	減価償却費	3,092千円
のれんの償却額	3,350	のれんの償却額	2,141